

# 衆議院法務委員会ニュース

平成 27.5.20 第 189 回国会第 15 号

5 月 20 日（水）、第 15 回の委員会が開かれました。

## 1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。  
補欠選任 理事 漆原良夫君（公明）（理事遠山清彦君昨 19 日委員辞任につきその補欠）

## 2 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

- ・上川法務大臣、大塚法務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 井野俊郎君（自民）

- ・現行の客観的証拠の収集手段として令状による捜索及び差押えがあるにもかかわらず、刑事訴訟法等の一部を改正する法律案により司法取引制度を導入する理由を伺いたい。
- ・司法取引制度においては、虚偽の供述による他人の巻き込みが懸念されているが、虚偽供述を防ぐ仕組みを説明してもらいたい。
- ・司法取引制度により得られた供述は、他人を巻き込む可能性があるため、裁判所でのチェックが重要であり、その証拠としての採否も慎重であるべきと考えるが、裁判所におけるこのような証拠の信用性とその採否についてどのように考えているのか、最高裁判所当局の認識を伺いたい。

### 柚木道義君（民主）

- ・外国人労働者について、氏名が「ン」で始まる者の雇用保険の資格取得届の際に、氏名の順番を変えることを求めるという事実があったのか又これまで氏名を変更することを要求するという事例は何件あったのか、厚生労働省に伺いたい。
- ・氏名は、個人のアイデンティティに深く関わるものであり、氏名の順番を変更するように求めることは、人権問題としての側面があることを否定できないと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・近年、児童ポルノの摘発件数は過去最悪という状況が続いており、その被害者の多くが中学生以下の児童であるが、平成 26 年改正児童ポルノ法が施行されている現在の児童ポルノ取締りの状況について、法務省及び警察庁に伺いたい。
- ・児童虐待、特に性に関わるものについては、致死傷についての加重罰を設けるなど、その処罰の在り方を検討す

る必要があると考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

### 鈴木貴子君（民主）

- ・志布志事件における捜査の違法性を指摘した今月 15 日の同事件に係る国家賠償請求訴訟の鹿児島地裁判決をどのように受け止めているか、法務大臣に伺いたい。
- ・性犯罪の再犯防止という観点から、量刑の見直しのみに重点を置くのは相当ではないと考えるところ、「性犯罪の罰則に関する検討会」において、性犯罪を親告罪から外すことが検討されているかどうか、また刑事施設内での処遇プログラムによつての再犯防止の効果の有無について、伺いたい。
- ・志布志事件における検察当局による違法な捜査を指摘した鹿児島地裁判決を受けても、質問主意書に対する答弁書や本委員会での法務大臣の答弁で繰り返されてきたように、検察当局は常に法と証拠に基づき、厳正公平、不偏不党を旨として常に適切に対処していると考えているのか、法務大臣の見解を伺いたい。

### 井出庸生君（維新）

- ・法制審議会において最高裁判所出身の委員が発言した内容について、当委員会において最高裁判所当局としては答弁を差し控える場合もあるのはなぜか、伺いたい。
- ・刑事訴訟法等の一部を改正する法律案について、当委員会における審議に臨むに当たつての法務大臣の決意を伺いたい。
- ・取調べの録音・録画について、検察における取組と比較して警察における取組が遅れているとの認識を持っているのか、また、警察も検察と一体となって取組を進めるべきであると考えているのか、法務省に伺いたい。
- ・取調べの録音・録画においては、被疑者の表情や感情が分かるように、ありのままを記録することが重要である

と考えるが、法務省の見解を伺いたい。

### **清水 忠 史君（共産）**

- ・警察が盗聴（通信傍受）を行う中で、毎年約8割もの犯罪とは無関係の通信が盗聴されているが、犯罪に関係のある内容を盗聴するために、85%の犯罪とは無関係な通信を盗聴することが、適正であるといえるのか、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・現行の通信傍受法で規定されている通信事業者の立会いについて、通信事業者のもとに行って盗聴を行わせる場所的制約や、立会いによる心理的抑止によって、捜査機関が公正公平に捜査を行うように設けられた規定であると理解しているが、通信事業者の立会いの役割について、伺いたい。
- ・いわゆる日本共産党幹部宅盗聴事件が警察による組織的なものであったか否かについて、警察庁の見解を伺いたい。